

## 第2 計画を取り巻く状況と課題

### 1 認知症高齢者の状況(認知症に関する意識及び実態調査)

#### ◆目的

認知症を有する人とその家族等の認知症に関する意識や生活状況、医療機関や介護保険事業者における認知症の対応状況などを把握し、認知症対策に求められていることを明確にするとともに、今後の認知症関連事業のあり方などを検討する際の基礎資料とするため、調査を実施しました。

#### ◆調査対象者及び回収率

※いずれも郵送配布・郵送回収

区分	対象	送付数	回収数	回収率
在宅高齢者及び家族	65歳以上の要介護認定を受けている在宅の高齢者とその家族	2,000	682	34.1%
医療機関	市内の病院・診療所	1,044	596	57.1%
居宅介護支援事業者	市内の居宅介護支援事業者	350	253	72.3%

#### ◆調査実施期間

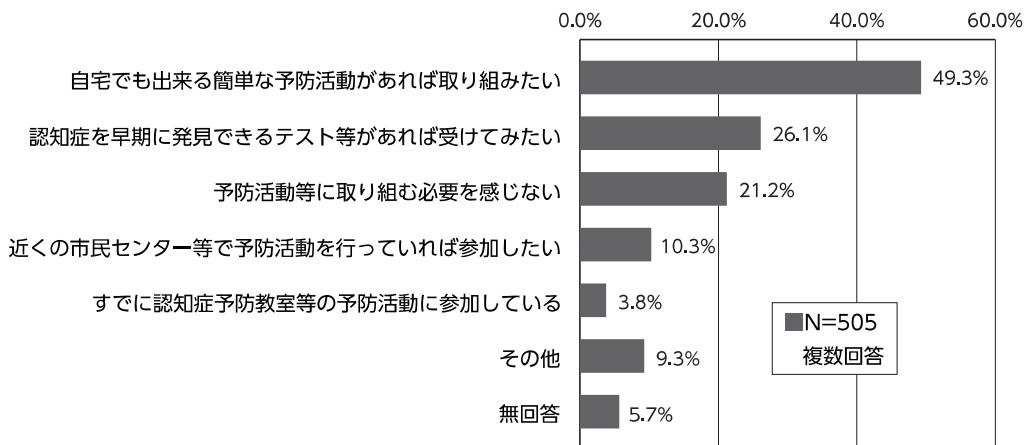
令和2年8月28日～令和2年9月30日

#### ◆調査結果（抜粋）

##### (1) 認知症の予防意識

認知症に関して不安がない人や、日常生活に支障がない人の予防意識については、「自宅でも出来る簡単な予防活動があれば取り組みたい」が5割弱(49.3%)と最も多く、「認知症を早期に発見できるテスト等があれば受けてみたい」(26.1%)、「予防活動等に取り組む必要を感じない」(21.2%)となっています。

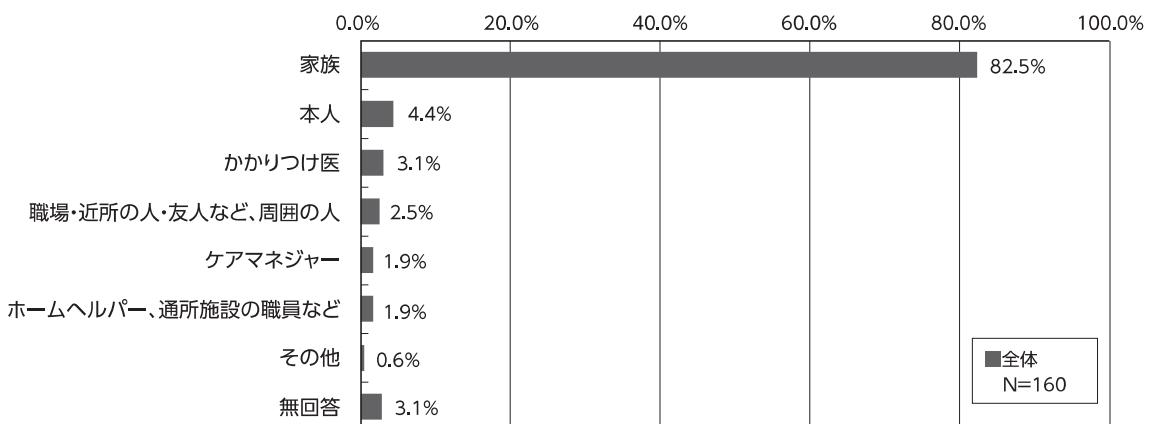
### 在宅高齢者・家族調査【認知症の不安がない・日常生活に支障がない人に質問】



### (2) 認知症の気づき

認知症に気づいた人は「家族」が8割以上(82.5%)となっており、これ以外は1割未満となっています。

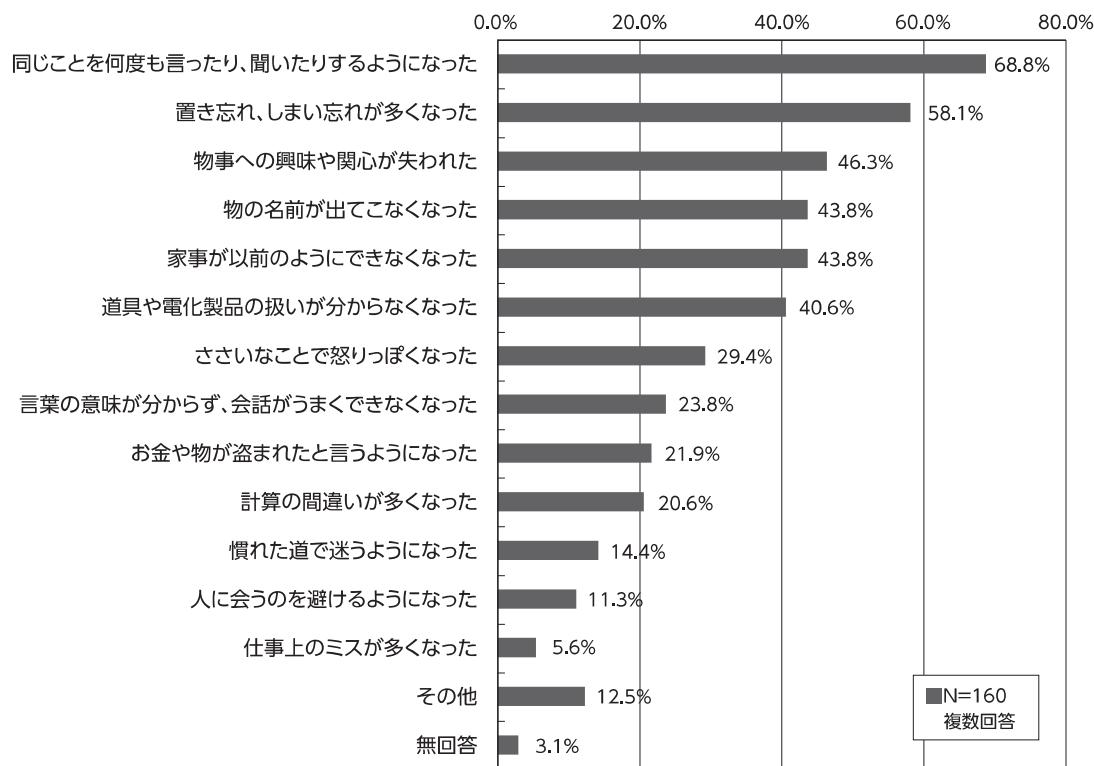
### 在宅高齢者・家族調査【認知症の疑いがある・医師から認知症と診断されている人に質問】



### (認知症に気づいたきっかけ)

認知症に気づいたきっかけは、「同じことを何度も言ったり、聞いたりするようになった」(68.8%)、「置き忘れ、しまい忘れが多くなった」(58.1%)が半数を超えており、また、これに次いで「物事への興味や関心が失われた」(46.3%)、「物の名前が出てこなくなつた」と「家事が以前のようにできなくなつた」(ともに43.8%)となっています。

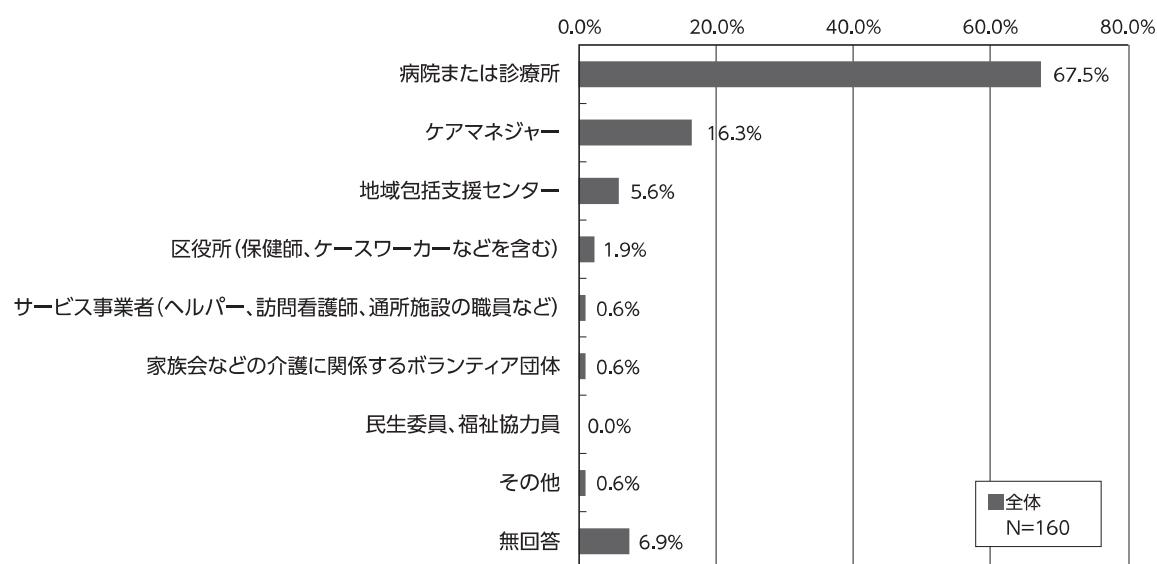
在宅高齢者・家族調査【認知症の疑いがある・医師から認知症と診断されている人に質問】



(認知症に気づいたときの相談・受診先)

認知症に気づいたときの相談・受診先は、「病院または診療所」が6割以上(67.5%)と最も多く、次いで、「ケアマネジャー」(16.3%)となっています。

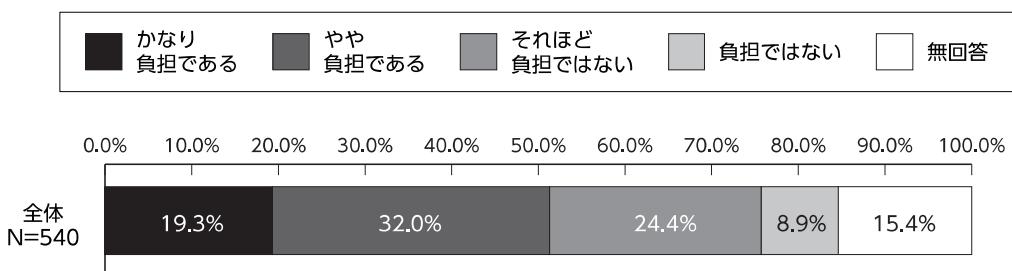
在宅高齢者・家族調査【認知症の疑いがある・医師から認知症と診断されている人に質問】



### (3) 家族（主な介護者）の介護の負担感

家族等の介護者の介護の負担感については、「やや負担である」(32.0%)が最も多く、これに「かなり負担である」(19.3%)をあわせた負担を感じている人は5割強(51.3%)となっています。

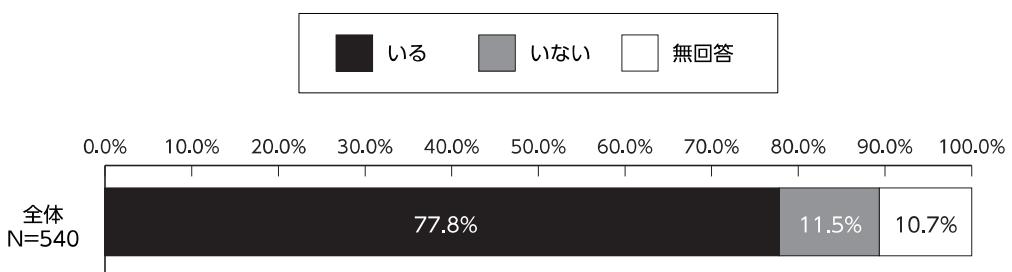
在宅高齢者・家族調査【主な介護者に質問】



### (4) 家族（主な介護者）の相談相手の有無

介護について相談ができる人の有無については、「いる」が77.8%、「いない」が11.5%となっています。

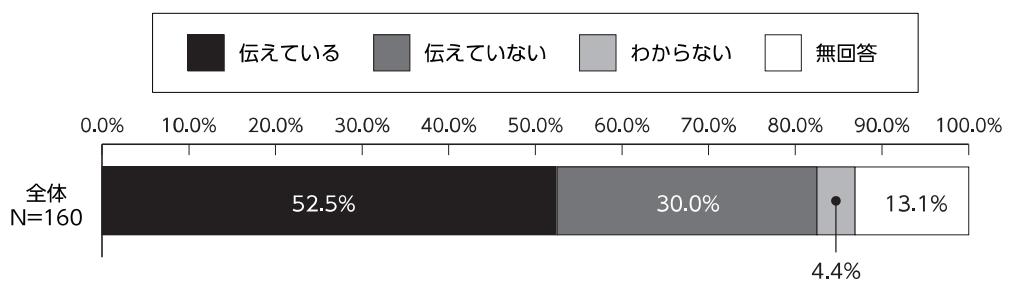
在宅高齢者・家族調査【主な介護者に質問】



### (5) 家族が認知症であることの近所への説明

近所の人への認知症の症状や状態の説明については、「伝えている」が52.5%となっており、「伝えていない」(30.0%)を上回っています。

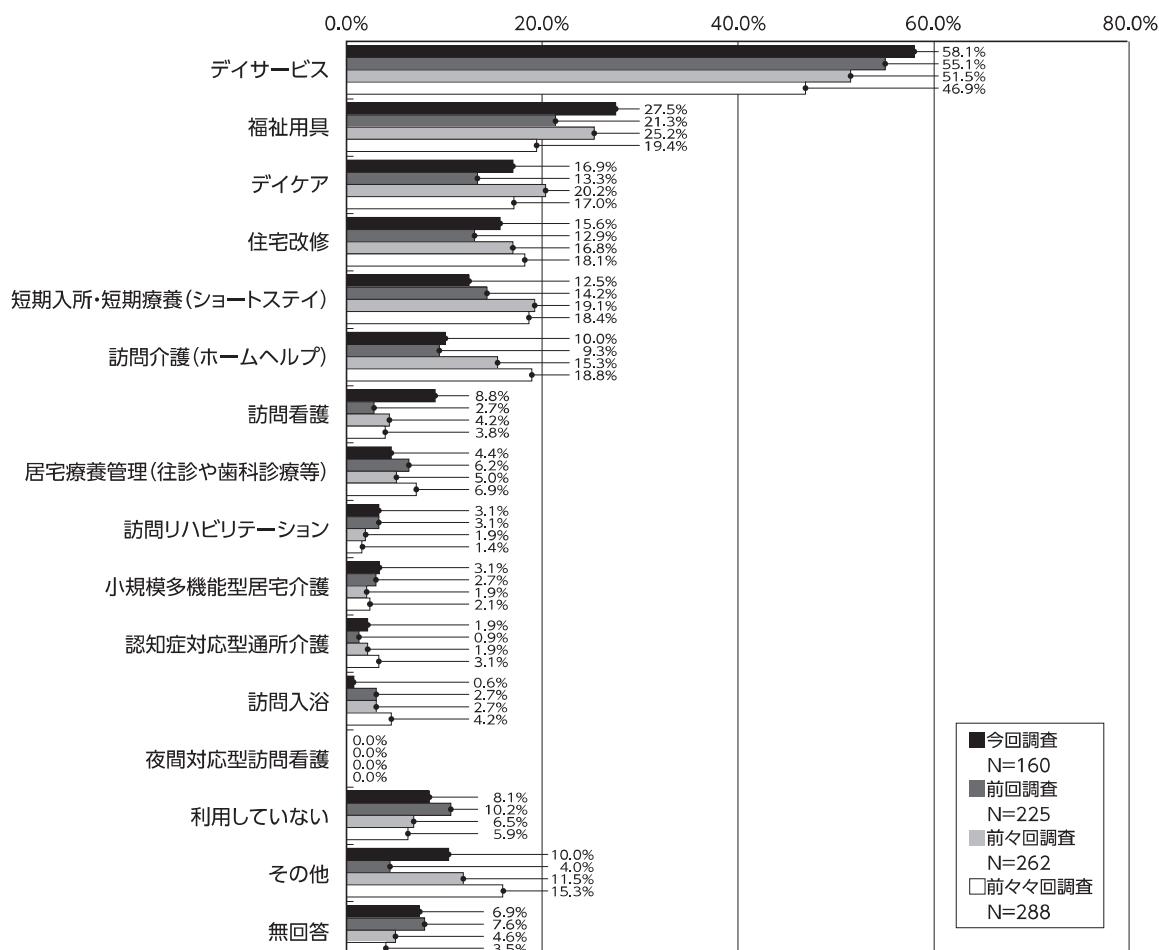
在宅高齢者・家族調査【認知症の疑いがある・医師から認知症と診断されている人の主な介護者に質問】



(6) 現在、利用している介護保険サービス

介護保険サービスの利用状況について尋ねたところ、「デイサービス」(58.1%)が6割弱と最も多く、過去の調査と比較すると増加傾向となっています。また、「福祉用具」、「訪問看護」等の割合も増加傾向となっています。

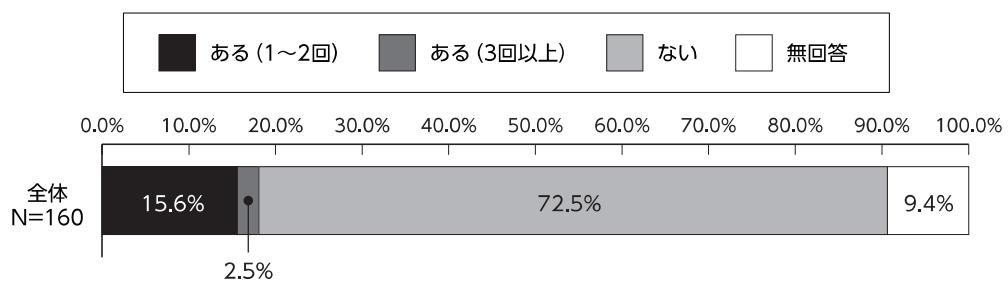
在宅高齢者・家族調査【認知症の疑いがある・医師から認知症と診断されている人に質問】



## (7) 認知症（疑い含む）の人の行方不明の経験及び行方不明になったときの相談先

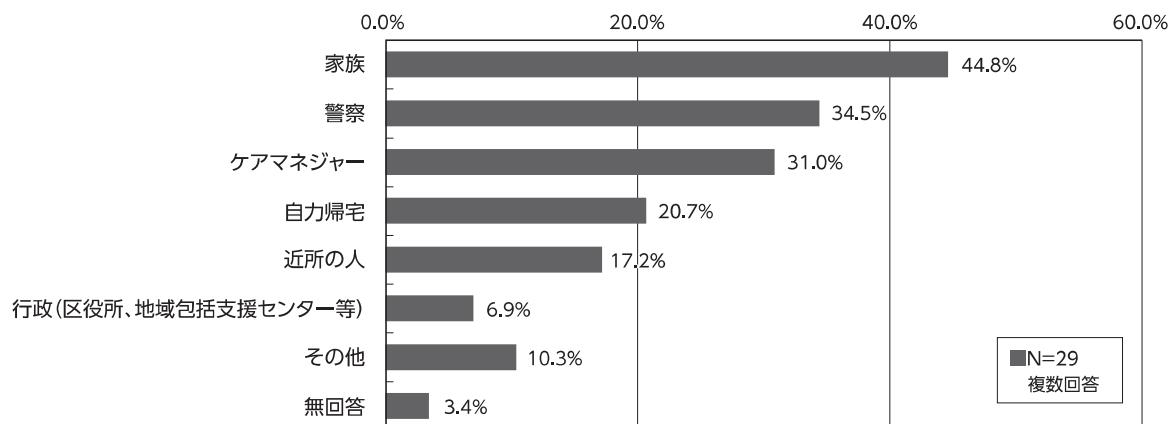
主な介護者に対し、認知症（疑い含む）の人が行方不明になったことがあるか尋ねたところ、「ある（1～2回）」は15.6%、「ある（3回以上）」は2.5%で、これらをあわせた行方不明になったことがある人は2割弱（18.1%）となっています。

在宅高齢者・家族調査【認知症の疑いがある・医師から認知症と診断されている人の主な介護者に質問】



### （行方不明になったときの相談先）

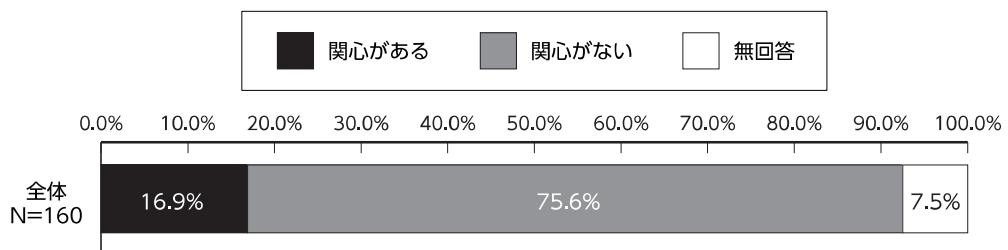
また、上記（7）で、「ある（1～2回）」または「ある（3回以上）」と答えた人に行方不明になったときの相談先を尋ねたところ、「家族」が4割強（44.8%）と最も多く、次いで「警察」（34.5%）、「ケアマネジャー」（31.0%）となっています。



## (8) 認知症の本人の自身の思いなどを発信する機会への関心の有無及び活動の意向

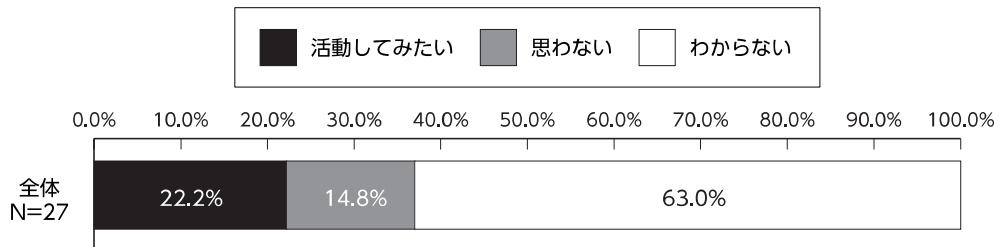
認知症の本人が自身の思いなどを発信する活動について、「関心がない」が75.6%、「関心がある」が16.9%となっています。

### 在宅高齢者・家族調査【認知症の疑いがある・医師から認知症と診断されている人に質問】



#### (本人発信の活動の意向)

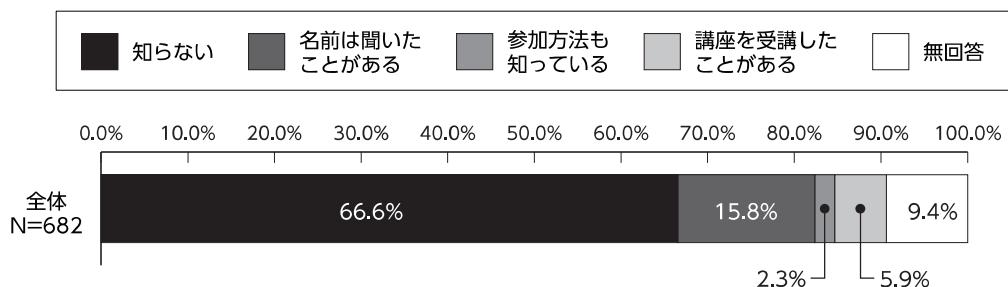
また、上記（8）で、「関心がある」と答えた人に自身がそのような活動をしてみたいか尋ねたところ、「わからない」が63.0%と最も多く、「活動してみたい」が22.2%、「思わない」が14.8%となっています。



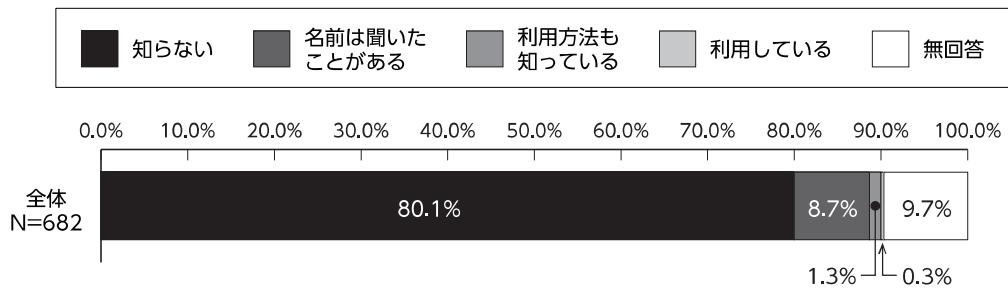
### （9）認知症施策の認知状況

#### 在宅高齢者・家族調査【すべての人に質問】

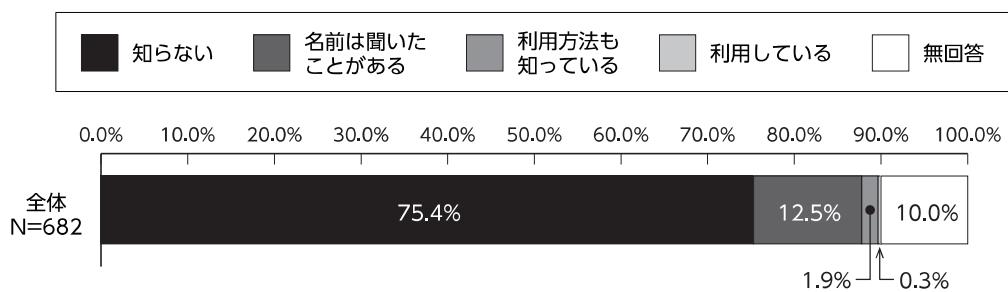
##### ① 認知症サポーター養成講座



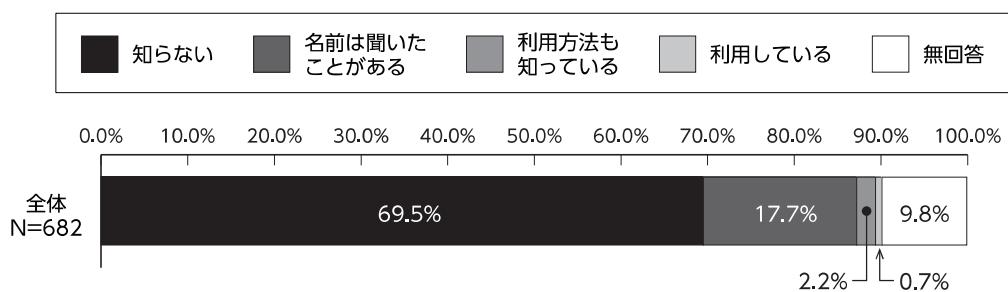
## ② 認知症サポーターメール



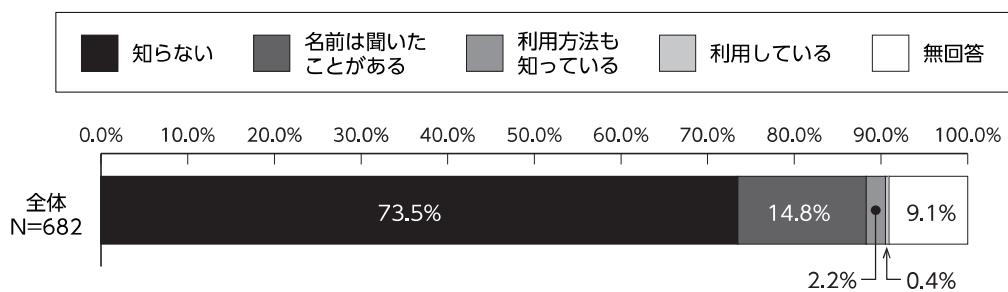
## ③ 見守りサポーター派遣事業



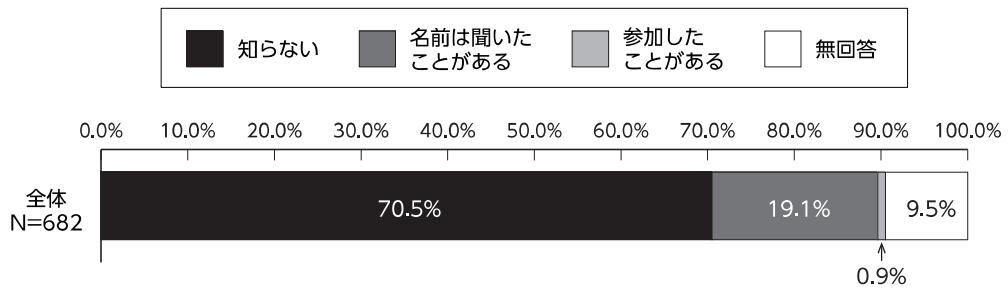
## ④ 認知症行方不明者等 SOS ネットワークシステム



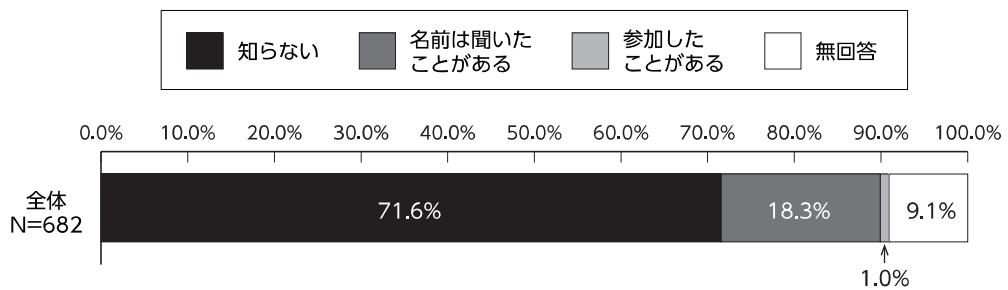
## ⑤ 認知症高齢者等位置探索サービス事業



## ⑥ 認知症介護家族交流会事業



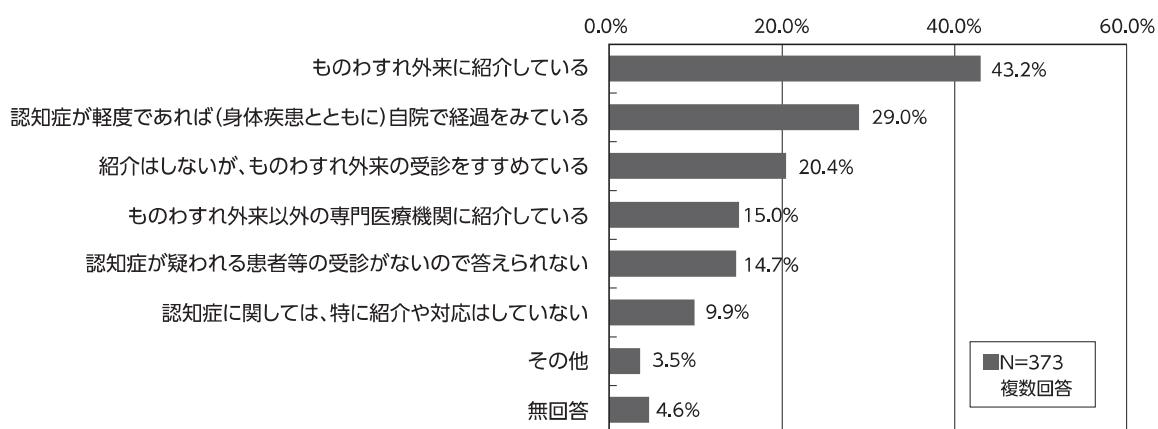
## ⑦ 認知症力フワ



## (10) 認知症の診断・治療希望があった場合の対応

認知症の診断・治療を行っていない医療機関に対し、「認知症の診断・治療の希望があった場合、または認知症を合併した身体疾患患者や認知症が疑われる患者に対しての対応」を尋ねたところ、「ものわすれ外来に紹介している」が4割強(43.2%)と最も多く、次いで「認知症が軽度であれば(身体疾患とともに)自院で経過をみている」(29.0%)、「紹介はしないが、ものわすれ外来の受診をすすめている」(20.4%)となっています。

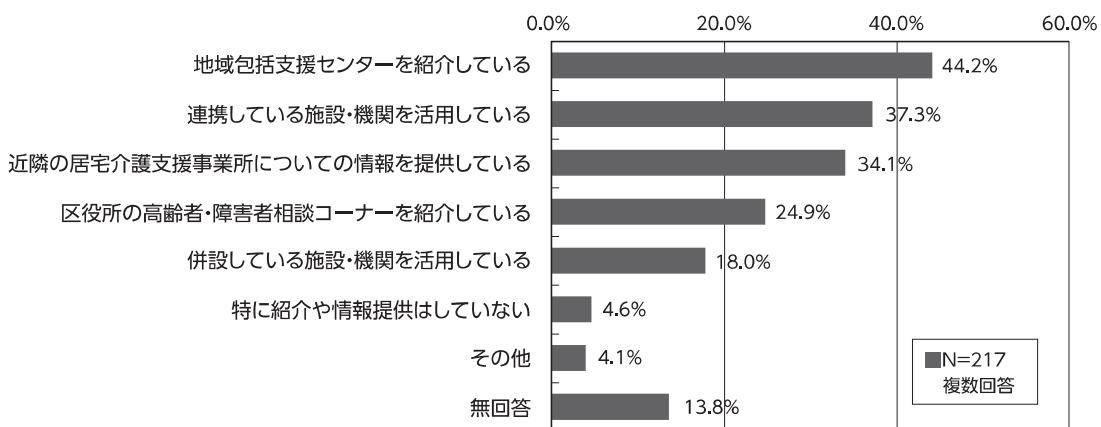
医療機関調査【認知症の診療・診断を行っていない医療機関に質問】



## (11) 診断の結果、介護保険サービス等につなぐ必要があると判断されたときの対応

関係団体との連携については、「地域包括支援センターを紹介している」(44.2%)が最も多く、次いで「連携している施設・機関を活用している」(37.3%)、「近隣の居宅介護支援事業所についての情報を提供している」(34.1%)となっています。

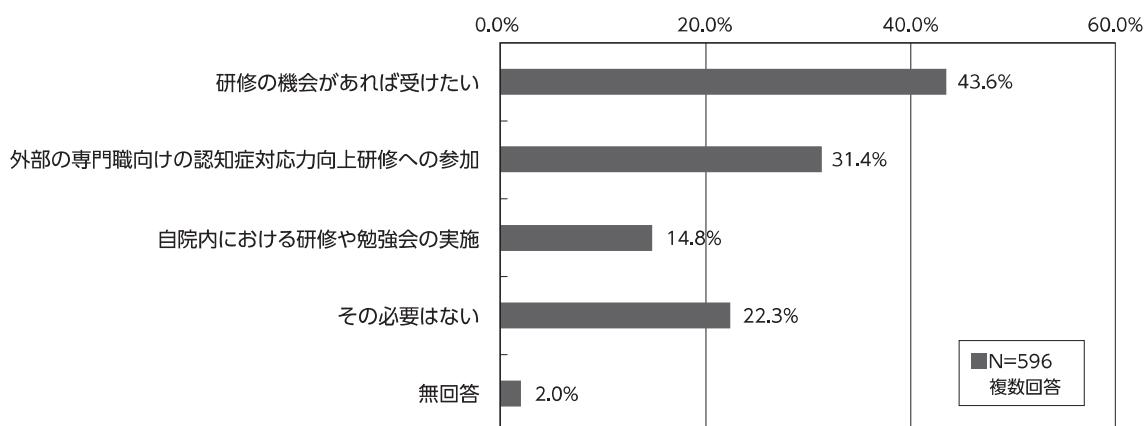
医療機関調査【認知症の診療・診断を行っている医療機関に質問】



## (12) 医療機関の認知症の対応力を養成する研修

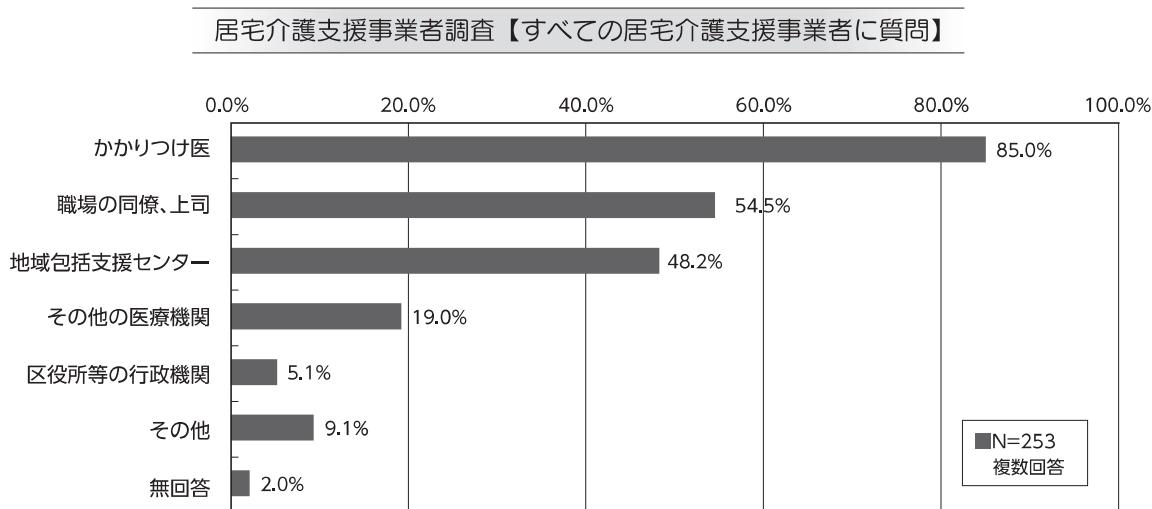
医療機関の認知症の対応力を養成する研修や勉強会について、「研修の機会があれば受けたい」(43.6%)が最も多く、次いで「外部の専門職向けの認知症対応力向上研修への参加」(31.4%)、「その必要はない」(22.3%)となっています。

医療機関調査【すべての医療機関に質問】



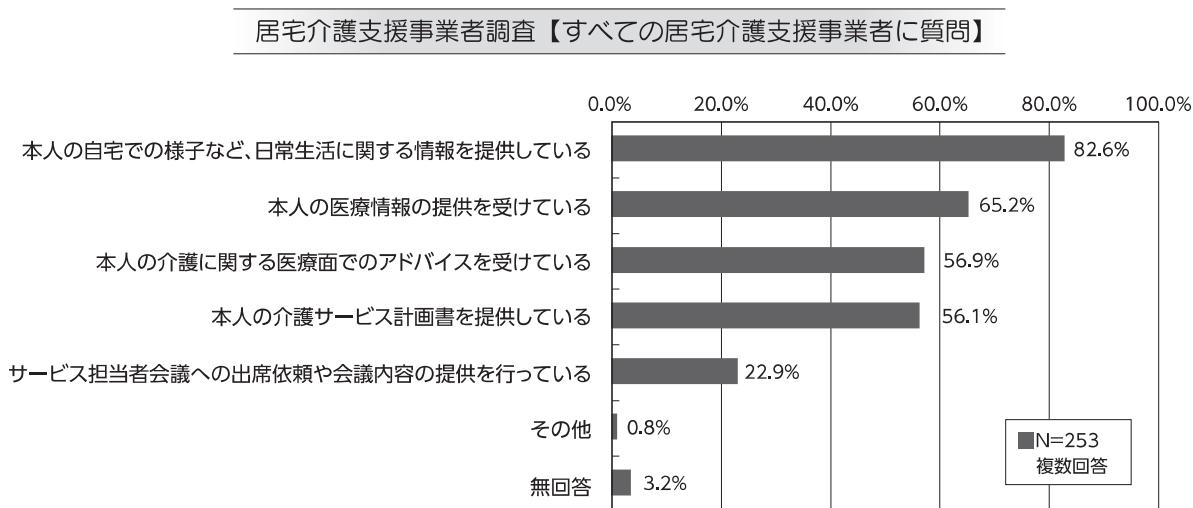
### (13) 居宅介護支援事業者の主な相談先

認知症の人についての主な相談先は、「かかりつけ医」(85.0%)が最も多く、次いで「職場の同僚、上司」(54.5%)、「地域包括支援センター」(48.2%)となっています。



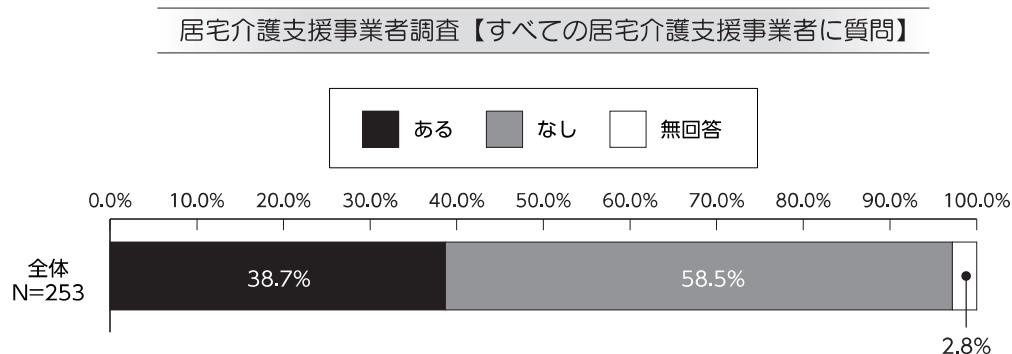
### (14) 認知症の人の対応についてのかかりつけ医との連携

居宅介護支援事業者に医療機関との連携内容について尋ねたところ、「本人の自宅での様子など、日常生活に関する情報を提供している」(82.6%)が最も多く、次いで「本人の医療情報の提供を受けている」(65.2%)、「本人の介護に関する医療面でのアドバイスを受けている」(56.9%)、「本人の介護サービス計画書を提供している」(56.1%)となっています。



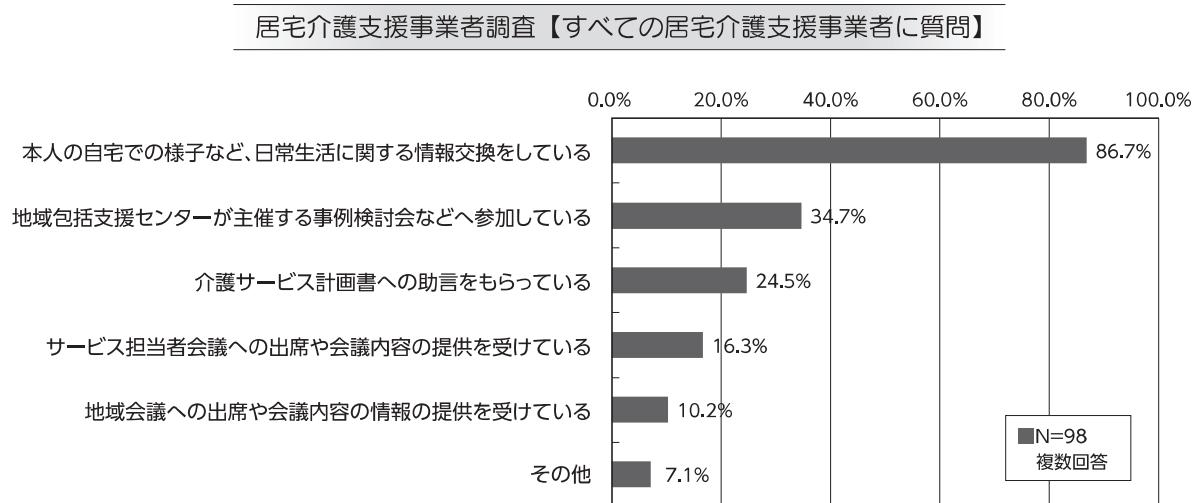
## (15) 認知症の人の対応についての地域包括支援センターとの連携

居宅介護支援事業者における地域包括支援センターと連携して対応しているケースについては、「ある」が38.7%に対し、「なし」が58.5%となっています。



### (地域包括支援センターとの連携内容)

また、地域包括支援センターとの連携内容については、「本人の自宅での様子など、日常生活に関する情報交換をしている」(86.7%)が最も多く、次いで、「地域包括支援センターが主催する事例検討会などへ参加している」(34.7%)、「介護サービス計画書への助言をもらっている」(24.5%)となっています。



(16) 認知症施策への要望

	在宅高齢者・家族 (N = 682)	医療機関 (N = 596)	居宅介護事業所 (N = 253)
第1位	認知症早期発見、予防活動や専門医療機関につながる取組み	認知症早期発見、予防活動や専門医療機関につながる取組み	在宅で一時的に認知症の人を見守るなど、在宅生活を支える取組み
第2位	かかりつけ医から専門医療機関にスムーズに紹介・連携できる体制	介護する家族を対象とした、認知症の人の介護などの研修会の開催	かかりつけ医から専門医療機関にスムーズに紹介・連携できる体制
第3位	医療と介護・行政との連携強化	かかりつけ医から専門医療機関にスムーズに紹介・連携できる体制	介護する家族を対象とした、認知症の人の介護などの研修会の開催

## 2 若年性認知症の人の状況(若年性認知症実態調査)

### ◆目的

若年性認知症（65歳未満で発症する認知症）の人とその家族の生活状態等を調査し、明らかにすることで課題を抽出し、今後の支援・施策検討にあたっての基礎資料を得るため、調査を実施しました。

### ◆調査対象機関・者

北九州市に住所地がある医療機関・居宅介護支援事業所・障害福祉サービス事業所・区役所（以下「対象機関」という。）及び同対象機関を利用する市内在住の若年性認知症の本人及び家族。

### ◆調査方法と回収率

対象機関を起点に、郵送によるアンケート調査（二段階方式：一次調査、二次調査）を行いました。

#### （1）一次調査

対象機関に対し、若年性認知症の人の対応の有無を調査するとともに、対象機関を通して二次調査に協力できる若年性認知症本人・家族の有無を調査しました。

対象機関	送付数	回収数	回収率
医療機関	1,044	500	47.9%
居宅介護支援事業所	350	224	64.0%
障害福祉 サービス事業所	特定相談支援事業所	92	69
	就労移行支援事業所	27	20
	就労継続A型事業所	57	37
	就労継続B型事業所	132	85
各区役所 高齢者・障害者相談係	地域包括支援センター	7	7
	精神保健福祉相談担当	7	7
計	1,716	949	55.3%

## (2) 二次調査

一次調査により「若年性認知症の人に対応した」と回答した対象機関の担当者に対して利用者の状況に関する調査を行うとともに、対象機関を介して「二次調査に協力できる」と回答した本人・家族に調査を行いました。

区分	送付数	回収数	回収率
「若年性認知症の人に対応した」と回答した対象機関	54 機関 (103 人分)	36 機関 (60 人分)	66.7% (58.3%)
「二次調査に協力できる」と回答した本人・家族(対象機関を通じて送付)	25 人 (重複有)	6 人	

## ◆調査対象期間と実施期間

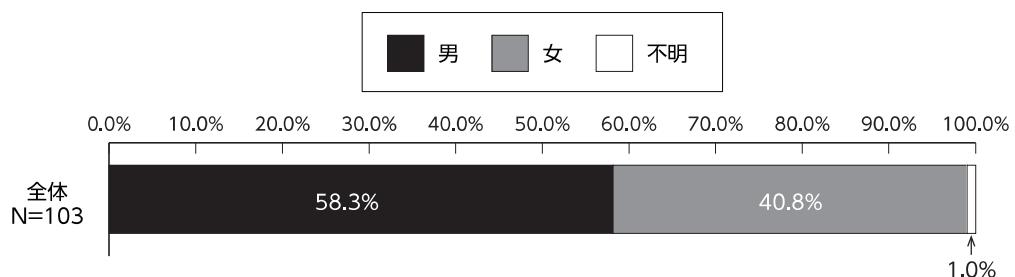
(1) 調査対象期間 平成31(2019)年4月1日～令和2(2020)年3月31日

(2) 調査実施期間 令和2(2020)年8月27日～令和2(2020)年11月20日

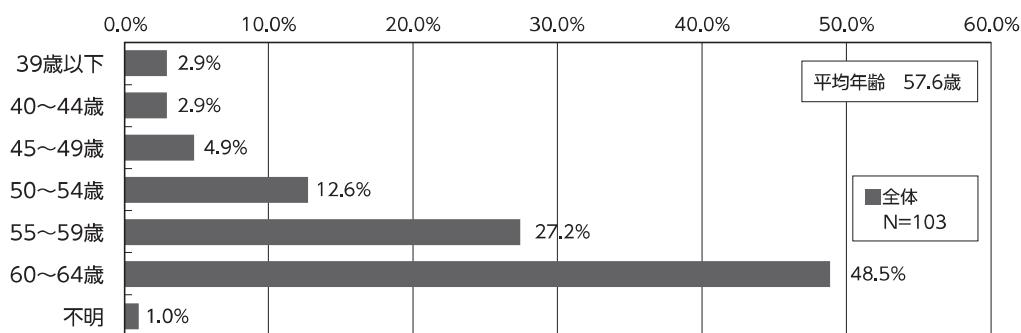
## ◆調査結果（抜粋）

### (1) 一次調査票による本人の状況

#### ① 性別

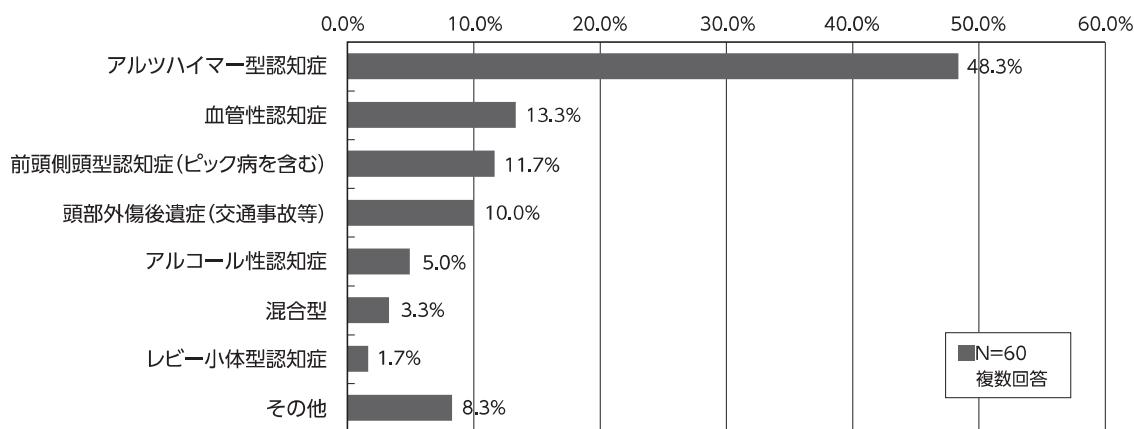


#### ② 調査時の年齢

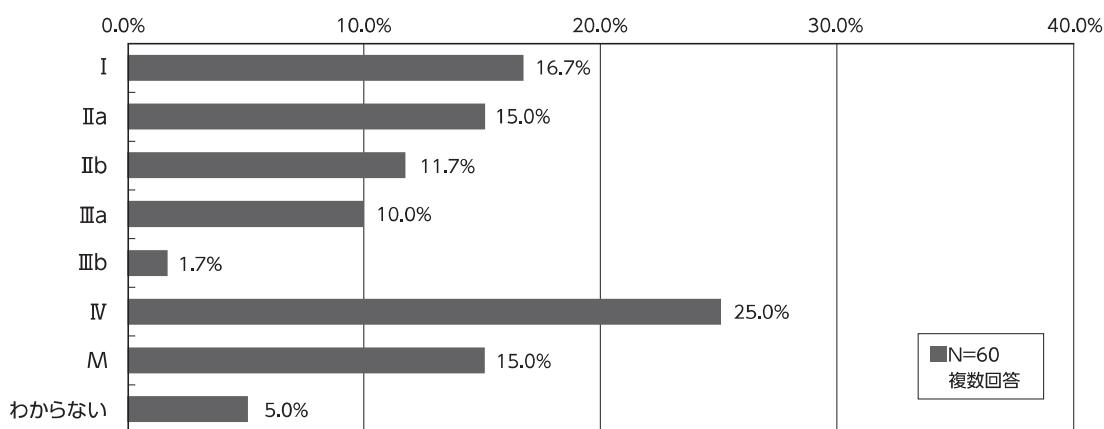


## (2) 二次調査票（調査対象機関担当者用調査票）による本人の状況

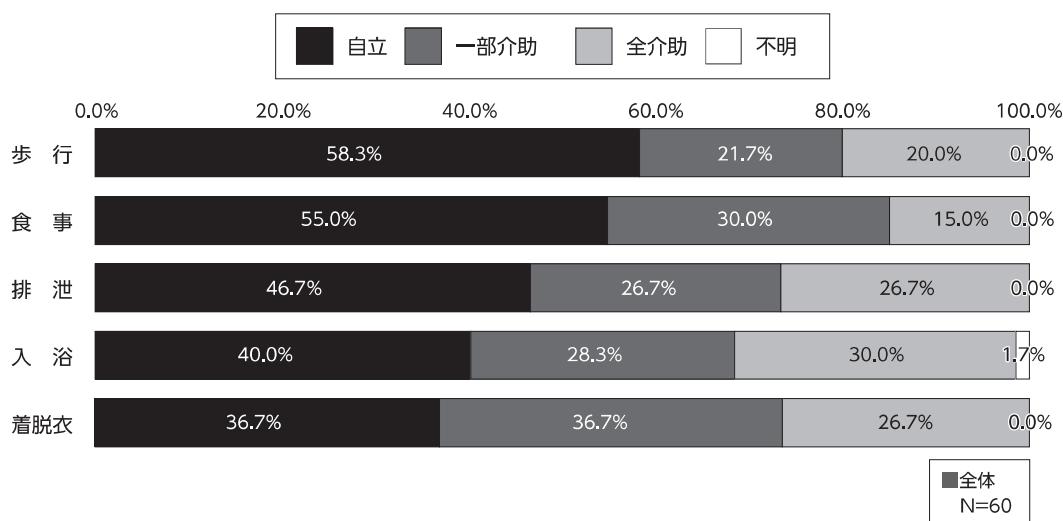
### ① 診断名



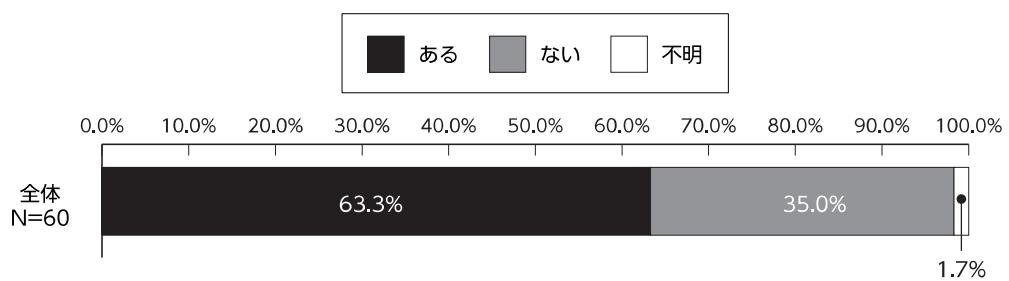
### ② 調査時の日常生活自立度（認知症高齢者の日常生活自立度）



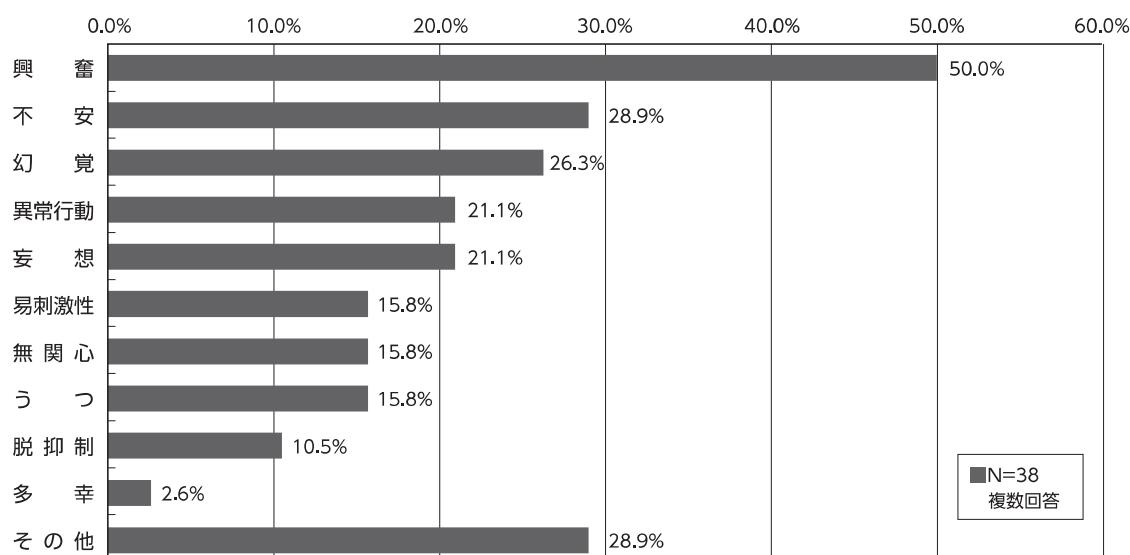
### ③ 調査時の基本的日常生活動作



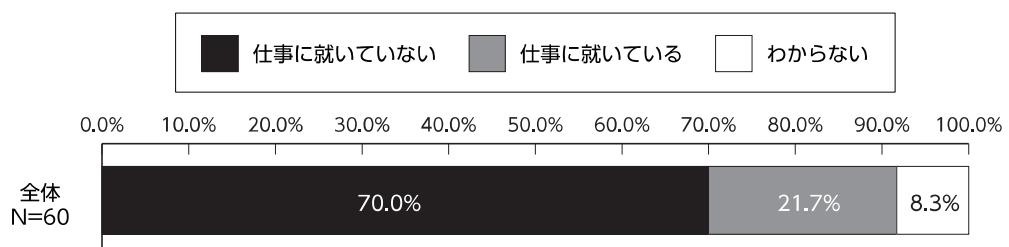
#### ④ BPSD（認知症の行動と心理症状）の有無



#### (BPSD の具体的な症状)



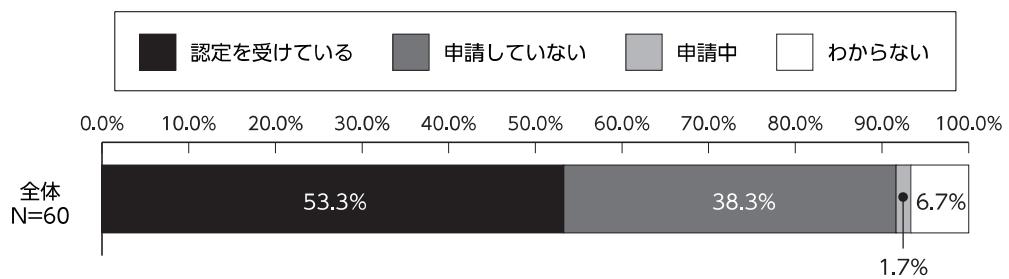
#### ⑤ 調査時の就労状況



#### 《仕事に就いていない主な理由》

- ・定年退職した
- ・定年前に自己退職した
- ・発病前より就業していない

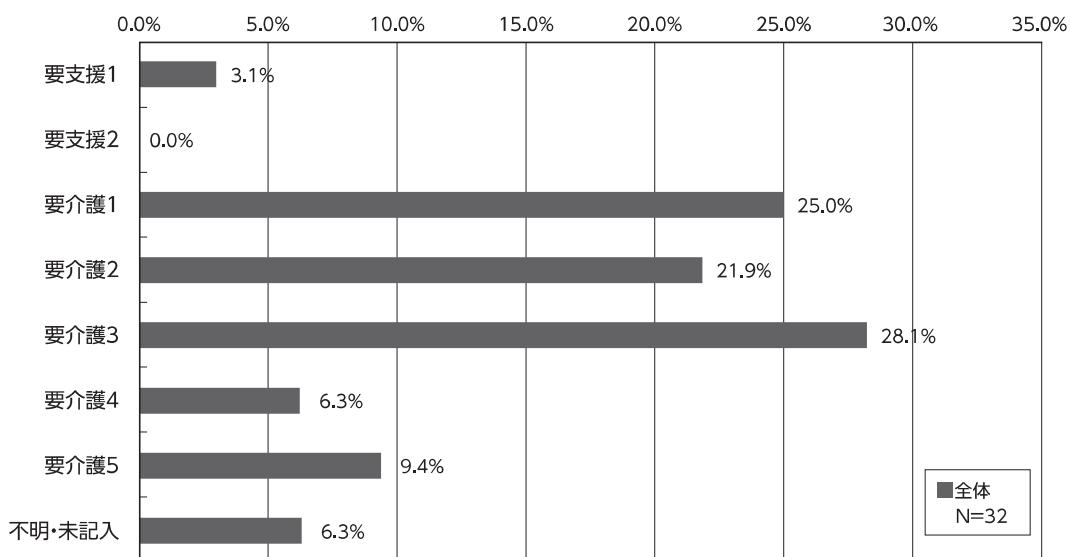
## ⑥ 調査時の要介護認定申請状況



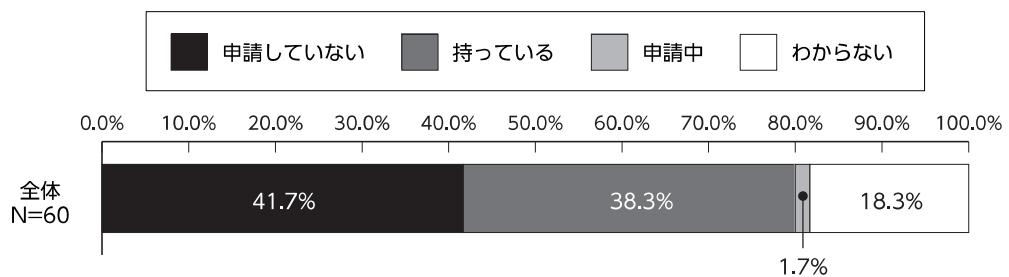
### 《要介護認定を申請していない主な理由》

- ・入院中
- ・障害サービスを利用中
- ・現在も働いている

## (要介護認定の詳細)



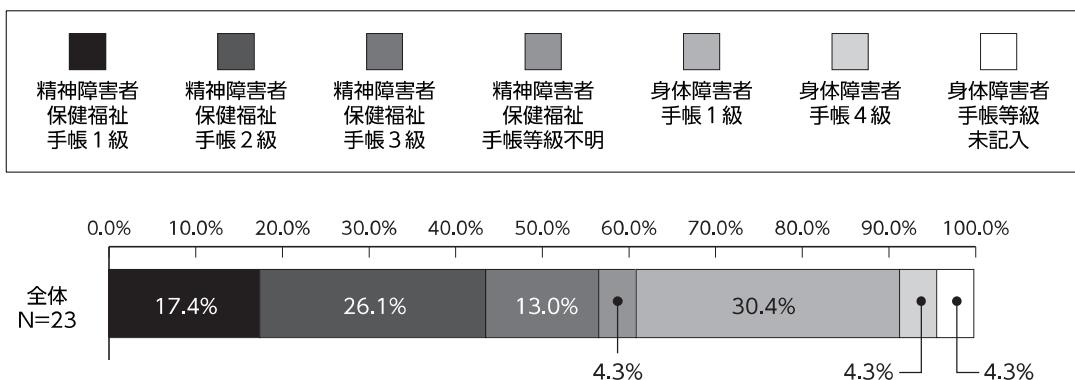
## ⑦ 調査時の障害者手帳の取得状況



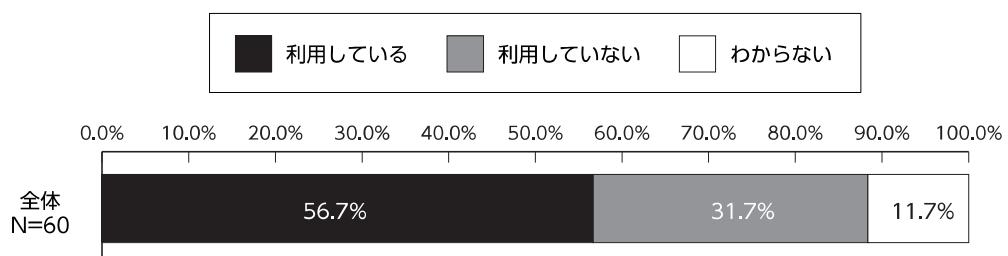
### 《障害者手帳を申請していない主な理由》

- ・今のところ必要性はない
- ・申請したくない

### (障害者手帳の種類と等級)



### ⑧ 調査時のサービス（介護保険・医療保険・障害福祉サービス）利用状況



### 《サービスを利用していない主な理由》

- ・入院中

## (利用中のサービスの内容)

